

広報広聴委員会行政視察報告

日 程：平成 25 年 7 月 29 日（月）～平成 25 年 7 月 30 日（火）

視察先：東京都あきる野市、滋賀県大津市

参加者：宮川委員長、大谷副委員長、平岡委員、西本委員、加根委員、谷委員、大江委員、
乗越委員、池田委員、事務局随員 1 名

● 東京都あきる野市（7月29日）

【人 口】 81,394 人 【面 積】 73.34 k m²

◆ 調査事項「議会だよりのリニューアルについて」

・ 取り組み概要

あきる野市では、「手にとってもらえる表紙づくり」、「気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫」を目標に、平成 25 年 2 月 1 日発行分の議会だよりに紙面の全面リニューアルが行われたが、その経緯、取り組みなどについて話を伺った。

○ 市議会だよりについて

発行回数：定例会ごと年 4 回

2, 5, 8, 11 月 1 日発行

規格：A 4 版、最大 24 ページ、全面 4 色、

針金留め、穴がない

配布方法：新聞折り込み・その他

< 議会だよりのリニューアルの経緯 >



① なぜリニューアルが必要だったか

・事務局職員が参加した研修での検証 ⇒ 手に取られない＝読者が（少ない・いない）



・このまま議会だよりを発行し続けるのか？ **年間約 400 万円の発行経費**

② リニューアルまでのプロセス

・平成 20 年に事務局内で提案（1 回目） ⇒ 事務局内で保留となる

・平成 21 年 市議会議員選挙

・平成 23 年 事務局内提案 2 回目 ⇒ 編集委員会へ提案することとなる

調査研究グループを結成

構成：議員 3 名、職員 1 名、期間：平成 23 年 10 月～24 年 5 月

回数：10 回、活動内容：内容検討、市民アンケートを実施

※市民アンケートの実施：来庁者 270 名へ直接調査【他市（10 市）の議会だよりの中でどれがよいかを投票】⇒結果あきる野市への投票は **4%**



・編集委員会へリニューアルを提案、議会全体の合意形成を図るため、代表者会議へも提案



リニューアル決定

＜議会だよりリニューアルの経緯＞

③ 進むべき道

- ・議員全員が同じ方向を見る⇒到達点を明確にする

第1に「手にとってもらえる表紙づくり」

第2に「気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫」

④ それぞれの役割

- ・掲載内容の検討⇒「記録としての冊子ではなく、読んでもらうための冊子」
- ・レイアウトデザイン⇒イメージを決めて、プロに依頼。
- ・レイアウトのポイント：導線、ホワイトスペースの活用、統一感、

⑤ 特集（ターゲットを決める）

- ・20代女性と70代男性の嗜好は一緒？⇒ターゲットを絞る必要がある

※ターゲットを絞らないと⇒中途半端なものができあがる⇒魅力がなくなる

- ・市議会だよりのターゲットは市民全員



特集でターゲットを絞る⇒議会と市民との距離を縮める

⑥ 表紙・裏表紙

- ・手に取るきっかけとなる
 - ・市民アンケートを基に方向性を検討（カラー、裁切の1人写真、タイトル）
 - ・表紙の写真の特集とリンクさせる
 - ・タイトルは引っかかるもの、議会（議員）の思いをのせる
- 「ギカイの時間」に決定：生活に直結する議会の活動を知ってもらう時間にしたい
- ・裏表紙：小学生が夢を語るコーナー

⑦ 議案審議

- ・議案の説明の特徴：詳細な説明内容がないので、読んでも理解できない⇒無関心を招く
- ・ピックアップ方式に変更：ピックアップした議案のみを掲載。詳細な説明を記載

⑧ 一般質問

- ・質問、答弁のキャプションカット
- ・答弁者をカット⇒答弁した内容に変わりはない。

⑨ 課題・目標・まとめ

- ・効果測定実施（平成25年4月）⇒200人中85%の方から好評価
- ・課題：編集する人は変わる⇒冊子の構成のコンセプトの維持

○議会だよりの特徴

- (1) 記録としての冊子ではなく、読んでもらうための冊子
- (2) 表紙の工夫（表紙の写真を特集記事とリンク、タイトル、）
- (3) 特集記事を掲載（特集記事に関連した読者の興味を誘う、読者を増やす）
- (4) レイアウトを作成するためのコンセプト（ホワイトスペースの活用、統一感）
- (5) 発行時期が早い（2, 5, 8, 11月1日発行）

・委員の感想

○トピックスのコンセプトを表紙に写真・文字で表現することにより、表紙を見るだけで思わず手に取りたくなるような市議会報に仕上げられていた。しかも定例議会終了後、約1カ月で市議会報が発行できており、その手際の良さに見習うべきことが多々あった。

旧市議会報を新市議会報にリニューアルするとき議員全員の承諾をとる必要があり、その際相当苦労したようである。

○平成25年から議会だよりが新しくなっているが、とても読みやすくなっている。特に目を引くのは文字を最小限に抑え写真を多く載せ見えやすくしている点である。

毎回とくしゅうを組んでターゲットを絞っている事により読者の深掘りが出来ていると思われまます。本市は一般質問が中心となっているが、変わりばえのない質問が多く、それを羅列する事で余計に読者の関心が無くなっているのが、現状だと思えます。

○リニューアルの議論の中で専門家の活用はこれまででも視察した中で議論があったこともあった、今回も初期投資にページ（白地活用・子どもや女性などの起用等のレイアウト）に工夫が重ねられたもの

であった。事務局側の職員体制をかんがみて、一時的にお金をかけて充実し、手に取ってもらおうアンケートの実施等も具体的に本市でも活用してはよいのではないかと思う。

○まず、新しい議会報（題名＝「ギカイの時間」）が出来までの経緯において、議会事務局担当者が積極的（リーダーとなって）に議会報のリニューアルに取り組まれていたことに驚いた。本事務局においても参考になったと思う。

次に、議会報（冊子）については、余白を活用すること、そして緑をベースとしたカラー印刷にすることで、見た目によさしく、非常に読み手の負担が少なく読みやすい広報誌となっていた。二色刷りからカラー印刷に変えることで、若干コストは高くなったとのことであるが、市民に認



リニューアルされた市議会だよりの

められ読み手が増えていることで、高い評価を持った。(コスト高はページ数の増加含めて、約 400 万円/年から 470 万円)

又、議会報発効までの期間が、工程表に従い、短期間で仕上げられて発行されていることも、学ぶべき大きな点であった。

本市議会で学ぶ点が多くあり、紙面の使い方、作成までの工程表(発行期間の長さ)等、そして何よりも、議会報を良くしようとする姿勢・熱意を今後の参考としたい。

○まず、一番、表紙を見てアッと驚く。明確なコピーとそのロゴと紙面レイアウトの構成の素晴らしさに見入った。

我が市においては、レイアウト等は、あきる野市と同じものでも良いと考え、コピーをしっかりと考えて、参考にする事が良いと思った。

基本的に議会会報誌のコンセプトは、マガジンであり記録を留める記録誌では無いとの考えに立って全体をまとめる必要性が肝要であると想った。質問広報記事、特集記事等も大変参考になる。特に写真と空欄と文字列の有り様、適度に遊びが有り、非常に読みやすい点は参考とすべき。1カ月位で作成する手順も参考にすべき。

○改革(リニューアル)を行うには意欲をもった仲間づくりが必要だと感じた。多くの市民に読んでもらえる議会報にするためには、レイアウトとデザインが大切であると感じた。

○全国の議会広報の表題は「〇〇市議会だより」が一般的で、あきる野市議会のように「ギカイの時間」を表題にしているのは全国の市議会では珍しく、斬新なアイデアと思った。この議会だよりのリニューアルは、市議会選挙において議員の若返りがあり、旧体制からの脱却が引き金となった様で、市民アンケートを実施し、市民の意向を参考に研究グループを結成し何回も議論し編集委員会で決定しているが、その内容は多くの市民に手に取ってもえらえる表紙づくり、色々とテーマを決めて特集記事を掲載したり、小学生の将来の夢を語るコーナーなどで少しでも市民に関心のある情報を提供している。東広島市としても、あきる野市を参考にして議会だよりのリニューアルについて検討したいと思った。

○あきる野市の広報について、市民のあらゆる分野を取材し本当に生の声がそこに掲載されていた。ページ数について少なく編集されていました。読者が見た目にも圧迫感がなく読みやすいものになっていたと思う。

全体的に見てもカラーによって綺麗にまとめている感じがした。とても良いものと感じた。

● 滋賀県大津市議会（7月30日）

【人 口】 337,339人 【面 積】 464.10k㎡

◆ 調査事項「各種団体との意見交換会等について」

・ 取り組み概要

大津市では、医師会などとの各種団体との意見交換会の実施方法や課題など、市議会だより、ホームページの概要についてお話を伺った。

○ 各種団体との意見交換会について

- ① 位置づけ：意見交換会の申し出があった場合に、議会運営委員会で出席者などを協議
- ② 実績：大津市自治連合会、大津市医師会、おおつかがやきネットワーク
- ③ 意見交換会の内容：依頼文に複数のテーマが記載されており、自由に意見交換をする
- ④ 結果報告：ホームページにトピックスとして掲載



○ 議会だよりについて

- ① 定例会閉会后、翌々月1日付け発行を原則
- ② 議会広報編集委員会：議長、副議長、議会運営委員会委員をもって構成
- ③ 規格：A4版、10ページ（2月定例会号のみ増ページ）、2色（表紙と裏表紙のみ4色）
- ④ 視覚障害者用テープを作成配付（約100名）

当市議会との比較

- ・ ページ数が少ない、発行日の時期、視覚障害者用テープの作成、委員会の構成員

○ ホームページについて

- ・ 市議会だよりの速報版を掲載（配信登録者へメール配信も実施）
- ・ 市議会トピックスの掲載（写真を交えて、市議会の動きや会議結果を掲載）
- ・ 議員提出議案、意見書、請願をPDFにし、全文を掲載
（※市議会提出議案は総務課のページにあり、リンクが貼ってある）

情報発信のスピード化、情報公開の拡大

・ 委員の感想

- 定例議会終了後、約1カ月で市議会報が発行できており、しかも、「はやうち」市議会だよりと称

する速報を定例議会終了後、数日でメールを配信している点は称賛に値する。ただ、「はやうち」市議会だよりのメール配信登録者数が200人強しかいないことであり、もったいないように感じられた。

- 住民にとっては、自分達の意見要望を直接議会に語る事が出来るのは市政との繋がりを強く保てる事となり、行政と住民の絆をより強くする事に繋がると思っています。

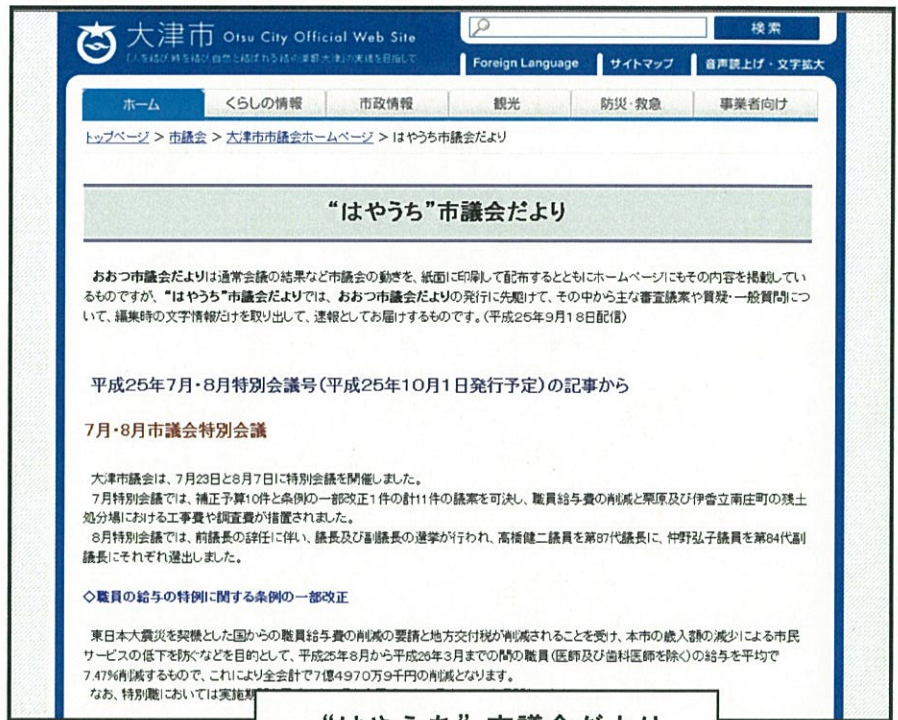
議会報告会等も大切な事とは思いますが、大津市議会のように各種団体からの意見交換会の申し出があって対応するという姿勢も一方的にならなくて良いと思います。

- 1 各種団体との意見交換会、2 市議会だよりについて、3 市議会だよりの速報版について、4 ホームページについて説明を受けた。

特に関心を持ったのは「意見交換会について」であるが、大津市においても、これから市民の皆様に対して、議会情報の報告とそして広聴への取り組みを始めようとする過渡期であり、どのように展開をしていくかを模索している状態であった。現在は、団体との意見交換であり、相手側の要望とテーマによって意見交換会が進められている。大津、東広島市両市ともに、市民に開かれた議会に向けて取り組んでいる状態なので、今後とも情報交換しながら、より良い広報広聴活動が展開できればと思う。

議会報については、あきる野市同様に発行までの期間が短い。そして、更に速報版＝「はやうち」市議会だよりを展開しており、議会の情報をより早く市民の皆様を展開しようとする強い姿勢がうかがえた。速報となると、インターネットがベースとなり課題も多々あるが、本市でも参考としたい取り組みである。

- 各種団体との意見交換会は議会活性化の中で出てきたが、これまでも、それ以前に医師会との懇談を要望してきて何回か実施されている。市長との直接要望だけに終わるのではなく議会も頼りにされるような受け皿になれば、今後団体からも積極的にアプローチもあるのではないかと？
- 単に市長提案の議会報告会に終わるのではない、市民に期待をもってもらえるよう、議員、各党派の実力が試されている。要するに市民の声なき声をすくいあげることになることが肝心なので？
- 今回のテーマの意見交換会については、定期的会合（医師会、男女共同参画団体）であり、成果としての具体的事項は無いとの事でありました。執行部又は事務局サイドは参加しておらず、詳細の協議内容は不明との事。我が市において行うのであれば、もっと具体的にテーマを掲げ、政



策に繋げる必要が有ると感じた。自治協議連合会は、平成 23 年度よりで共通の事項の問題抽出程度である説明あり。

議会報に先立ち、ホームページにて「はやうち」市議会だよりを出している点は特筆的事項であった。

大津市もあきる野市同様に議会終了後、約 1 カ月程度で議会報を発行されており、システムティックにスケジュール管理されている。見習うべき。

- 意見交換会を実施する目的や対象者をはっきりと決めて行うことが大切だと感じた。
- 大津市議会の各種団体との意見交換会の実情や運営方法等について話しを伺いましたが、議会として積極的に活動していないようであった。実績としては、自治連合会・医師会・男女共同参画推進団体など数件であった。意見交換会の内容としては、団体からの申し出によって事前に依頼されたテーマによって意見交換会をしている様で、議会として市内に出向いて意見交換会は開催していないとのことであった。市民に開かれた議会を目指して議会側で積極的に市内に出向いて意見交換会を開催していると思っていたが、団体からの申し出によって開催していることを聞いて、イメージとは違っていたが、今後の検討材料にはなる。
- 本市の取り組もうとしている新たな取り組みとしては広聴の部分であり、市民その他の分野からの依頼があってはじめて行動している。広聴としてはむしろ消極的と感じた。
東広島市広報広聴委員会は、もっと積極的に市民に対して打って出ていきたいと感じた。